

CO₂削減取り組み
中部の4団体表彰

「一村一品大作戦

地球温暖化対策として二酸化炭素(CO₂)を削減する各地の優れた取り組みを紹介する第二回「ストップ温暖化」一村一品大作戦全国大会(環境省主催)の表彰式が十五日、東京都内であり、各都道府県の四十七代表の中から京都代表の

京都市立雲ヶ畑中学校が最優秀賞に選ばれた。

京都代表の最優秀賞

受賞は二年連続。雲ヶ畑中は地域住民らの協力を得て、間伐材などから作ったまきを学校の暖房に活用、化石燃料の使用を減らしたことが評価された。金賞は雪国住宅研究会(新潟)、銀賞は農事組合法人高知バイオマスファーム(高

知)、銅賞は沖繩県立宮古総合実業高校環境班が受賞。ほかに特別賞が七団体、審査委員

賞が七団体、審査委員

特別賞が十一団体。残る二十五団体はすべて優秀賞を受賞した。中部関係では、審査委員特別賞に白馬環境教育推進協議会(長野)、カルビー(湖南野)、カルビー(滋賀)、NPO法人WAKUWAKU西郷(静岡)、福井市杜北公民館が選ばれた。